

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県葉山警察署協議会
日 時	令和5年7月21日(金)午後2時30分から午後4時までの間
場 所	神奈川県葉山警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 会 長 服部純子 副会長 鈴木雅子 委 員 田中登美江 委 員 前田知洋 委 員 桐田吉彦 委 員 中野 徹 委 員 小池康多郎 計7人</p> <p>2 警察署側 署 長 齋藤英樹 副署長 鈴木正明 調 査 官 関澤和也 生安全課長 近藤信明 地域課長 安斎城一郎 刑事課長 吉崎 充 交通課長 中井敬介 警備課長 中村仁彦 会計課係長 計9人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	前回諮問「自転車利用者のヘルメット着用努力義務推進方策」
	1 答申
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故等の数字を示して、危機感を持たせる教育を幼少期から行う ・ 警察による地道な声掛けを行う ・ 行政による補助金の予算確保や、役所などにおいて実際に展示するなどして実物を手に取れる機会を増やしてほしい
	2 措置結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「事故等の数字を示して、危機感を持たせる教育を幼少期から行う」については、幼稚園、小学校に対する安全教室を実施し、延べ756人の園児、児童さらにはその保護者に対して自転車ヘルメットを含めた教育を実施した。これらの安全教室はテレビ局を通じて放映されており、またタウンニュースに掲載されるなど、各種メディアによる周知を図ることができた。 ・ 「警察による地道な声掛けを行う」については、主に交通取締りの際の実施しており、引き続き、「街角アドバイス」「県民交通安全の日」等の交通監視などにおいても積極的かつ地道な声掛けを継続する。 ・ 「行政による補助金の予算確保や、役所などにおいて実際に展示するなどして実物を手に取れる機会を増やしてほしい」については、補助金などの予算は確保できなかったが、役場や一般企業へのポスター掲示の依頼や安全教室内で配布したチラシを広く浸透させ、自転車ヘルメットは基より全ての交通安全に繋げる。
	諮問
	風水害対策
	答申
<ol style="list-style-type: none"> 1 災害関連情報の窓口の設置とその周知 2 他機関と連携し町民の防災意識を向上させる 3 危険個所把握時の警察による積極的な関与 	
業務説明	
前四半期(令和5年4月から6月まで)の業務推進結果及び今四半期(令和5年7月から9月まで)の業務推進重点については、各課長から説明がなされた。	

備 考	視察
	危機管理対策課即応対策チームによる救出救助訓練
	視察後の協議会からの意見
	<ul style="list-style-type: none">・警察は、災害対策にも力を入れているんですね。頼もしいです。・災害対策に関し、町民の意識や関心を高める必要があると感じました。